

X エレミヤの新しい契約の完成者イエス

エレミヤ 31:31~34、 IIコリント 3:6~11

はじめに

今回はエレミヤによる新しい契約の預言を見ていく。まず、この預言だけでなく、「新しい契約」の預言を語ったほかの預言者のことばを合わせて紹介する。さらに、エレミヤの預言の主要なテーマについて述べ、イエス・キリストの新しい契約との結びつきを味わいたい。キリストによる完成の契約である。

1. 新しい契約・希望のことばを語る預言者

新しい契約が与えられたことによって「モーセの律法：シナイ契約」は〈古い契約〉と呼ばれるようになった。イスラエルの歴史の終盤に差し掛かり預言者たちは、契約に違反した者たちに、神の裁きが避けられないことを警告した。それと同時に、破滅の向こうに希望があることを宣言したのである。

(1) イザヤは「新しいこと」が始まると預言した

「初めのことは、見よ、すでに起こった。新しいことを、わたしは告げる。それが起こる前にあなたがたに聞かせる」（イザヤ 42：9）。

「見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける」（イザヤ 43：19、48：6、62：2 参照）。

(2) エゼキエルは創造主が「新しい霊」を与えると預言している

「わたしは彼らに一つの心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしは彼らのからだから石の心を取り除き、彼らに肉の心を与える」（エゼキエル 11：19）。

「わたしは-----あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。わたしの霊をあなたがたのうちに授けて、わたしの掟に従って歩み、わたしの定めを守り行うようにする」（エゼキエル 36：24~27）。

2. イスラエルはシナイ契約を守らなかったで、神は革新的介入をされた

破滅の向こうに希望があるという期待感をもって預言を語るエレミヤのメッセージは、神の最後の契約と呼ぶにふさわしいものであった。この契約はこれまで与えられたすべての契約を超えるものとなり、それ以前の契約を実現させ、完成させるものであった。それゆえ、「完成の契約」とも呼ばれる。それを成し遂げるひとりの人がいる。その人、すなわちキリストの到来を待たねばならない。

(1) 捕囚の地からの帰還

「見よ、その時代が来る——【主】のことば——。そのとき、わたしはわたし

の民イスラエルとユダを回復させる——【主】は言われる——。わたしは彼らをその父祖に与えた地に帰らせる。彼らはそれを所有する。」(エレミヤ 30 : 3)。

神がみ怒りによって散らした諸国からイスラエルをふたたび寄せ集めるという(エレミヤ 32 : 37)。エゼキエルも同じ預言をした(37 : 21~26)。

(2) **荒れ果てた約束の地を、永遠の契約により回復させ、祝福する**

「あなたがたが、『この地は荒れ果てて、人も家畜もいなくなり、カルデア人の手に渡される』と言っているこの地で、再び畑が買われる」(エレミヤ 32 : 43)。また、エレミヤとともにエゼキエルは復活と結びつけている(エレミヤ 31 : 38~40)。主は私に言われた。(エゼキエル 37 : 11~12)。

(3) **〈新しい契約〉はアブラハム契約以来の約束を完全に成就する**

「これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——

【主】のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる」(エレミヤ 31 : 33)。この約束は、後にも述べるがキリストの再臨によって成就し、新しい契約による神の国は最終的に完成する。

(4) **聖霊の働きによるこころの刷新**

「わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える」(エゼキエル 36:28)。預言はさらに続く。「また、わたしがあなたがたのうちにわたしの霊を入れると、あなたがたは生き返る。わたしはあなたがたを、あなたがたの地に住まわせる」(エゼキエル 37 : 14)。

この預言は、新約聖書のヘブル人への手紙に旧契約との比較の中で記されている(ヘブル 10 : 15~18)。

(5) **罪の完全な赦し**

「彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『【主】を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るようになるからだ——【主】のことば——。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ」(エレミヤ 31 : 34、参 33 : 8)。

(6) **新しい契約の対象は、南北統一王国**

イスラエルはサウル王の死後、その子イシュ・ボシェテ北王朝と、南ユダのダビデ王朝に分裂した。Ⅰサムエル 15 章 28 節でサムエルが預言したことが実現したのである。Ⅱサムエル 2 章 4 節でダビデがヘブロンでユダの王に即位し、5 章 3 節でイスラエルの全長老によって油注ぎを受け、イスラエルの王となった。ダビデ統一王朝の成立である。

(7) **新しい契約の持つ独自の永遠性**

エレミヤの新しい契約はそれ以前の契約の永遠性に加え、終末論的な要素が備わっていたのである。それ以前の契約に対して、単に新しい契約なのではなく、

「最後の契約」となり、これによって神の贖いの計画がすべて成就するのである。「彼らはシオンを求め、その道に顔を向けて言う。『さあ、私たちは【主】に連なろう。忘れられることのない永遠の契約によって』」(50:5)と。

神のすべての契約はこの〈新しい契約〉によって実現され、その意味で「とこしえ」のものと呼ばれる。

3. 〈新しい契約〉はイエス・キリストのうちにあって完成する

(1) イエス・キリストの救いは、「新しい契約」(エレミヤ 31:33~34)に預言されていた

それは、律法を教える必要がなくなることであり、神の聖なる民のこころの内に書き記すという啓示であった。

(2) エレミヤの預言はイエス・キリストの贖いによってより優れたものとなった

使徒パウロは、モーセの律法の働きよりも、「新しい契約」の優位性を示している。その優位性の比較対照の三つの象徴がⅡコリント人への手紙3章にある。

イエス・キリストのうちにあって完成する

① イエス・キリストの救いは、「新しい契約」(エレミヤ 31:33~34)にある。

それは、律法を教える必要がなくなることであり、神の聖なる民のこころの内に書き記すという啓示であった。

② キリストは新しい契約の仲介者

「キリストは新しい契約の仲介者です。それは、初めの契約のときの違反から贖い出すための死が実現して、召された者たちが、約束された永遠の資産を受け継ぐためです(ヘブル9:15)。

③ エレミヤの預言はイエス・キリストの贖いによってより優れたものとなった。

使徒パウロは、モーセの律法の働きよりも、「新しい契約」の優位性を示している。その優位性の対照の三つの象徴がⅡコリント人への手紙3章にある。

★モーセの顔の輝きの象徴

「石の上に刻まれた文字による、死に仕える務めさえ栄光を帯びたものであり、イスラエルの子らはモーセの顔にあった消え去る栄光のために、モーセの顔を見つめることができないほどでした。そうであれば、御霊に仕える務めは、もっと栄光を帯びたものにならないでしょうか。罪に定める務めに栄光があるのなら、義とする務めは、なおいっそう栄光に満ちあふれます」(Ⅱコリント3:7~9)。

★モーセの顔の輝きが失われていった。

律法を与えるモーセの顔の輝きは、「古い契約」にも栄光があったが、「新しい契約」のより優れた栄光の前では色あせていくのである。それは、御霊に仕える務め、義とする務めと呼ばれていた。

「消え去るべきものが栄光の中にあったのなら、永続するものは、なおのこと栄光に包まれているはずです」(Ⅱコリント 3:11)。モーセの顔の輝きが失われていったのは、モーセの契約は衰退すべきものであるのに対して、〈新しい契約〉は永続性を持っていることを象徴している。

むすび

モーセの「古い契約」にも栄光があったが、それは失われゆく栄光であり、〈新しい契約〉の栄光とは、はるかに劣っており、比べるべきものではなかったのである。〈新しい契約〉は驚くべき栄光に満ちている。人がこの栄光に与かるためには、「主に立ち返る」(Ⅱコリント 3:16) 決意が必要であり、「神に対する悔い改めと、私たちの主イエスに対する信仰」(使徒 20:21) が求められている。言い換えれば、信仰と悔い改めがなされているだけでよいのである。それは、恵により、聖霊によって与えられているのである。これこそ新しい契約による贖いの福音なのである。使徒パウロは同じ手紙の 5 章で有名な神の約束を宣言する。それは以下の罪の赦しと和解のことばである。

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」これらのことはすべて、神から出ています。神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました。すなわち、神はキリストにあって、この世をご自分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、和解のことばを私たちに委ねられました」(Ⅱコリント 5:15~20)。

私はこのみことばでイエス・キリストを信じる信仰に大きく導かれた。求道中の 1963 年(昭和 38 年)の特別集会で、講師の山田晴枝師の証しを聴いた時であった。日本人女性 300 人が大陸からの引き上げ列車でソ連軍に足止めされ、その交渉役の独りであったという体験談である。みんなを助けるために自分の一身を投げ出す覚悟で臨み、全員不思議に無傷で解放されたというのである。それは、イエス・キリストの十字架の身代わりの死による救いを信じ、満州熱河地方の宣教師の使命に殉じることだと涙ながらに話された。生きる目的を探していた私に、自分のために死んで蘇られた方のために生きる道が示されたのである。その年の 11 月。私は、明確な回心の体験をした。それは霊的な生まれ変わりの時であった。その時から、すべてが新しくなったのである。1966 年春、伝道者の召しを受けて会社を辞め神学校に進んだのである。キリストの和解のことばを伝えるために。